



政友会

(質問者：佐藤 泉 議員)



施政方針における5つの重点施策について

問 ①未来産業基盤強化プロジェクト（東山田・谷貝地区）について、この地域は近年の大雨で洪水が発生しており、水害を鑑みると不安がある。行政の対策として、調整池の設置を提案するが所見を伺う。②出会いがなければ、結婚、出産、子育てと続かない。近隣市町と連携した市主催のお見合いパーティーの実施を提案するがいか

がか。③地域経済やコミュニティの活性化につながる地域通貨の導入に向け、行政や民間事業者、地域の人々などから構成される協議会等の設置が必要と考えるが市長の見解を伺う。

④「和菓子、洋菓子、こ菓子（古河市）」のキャッチフレーズで古河市を「スイーツのまち古河」としてPRできないか。

答（市長） ①ハザードマップでは、東山田・谷貝地区の浸水深の想定は0.5メートルから3メートル未満となっている。開発行為には法に定められた調整池の設置義務があるが、過去に発生した水害等の経緯を踏まえ、市独自の調整池設置の検討を進めている。②近隣市町とのお見合いパーティーについては、近

隣首長が集まった時に、話はあったが実現には至っていない。これからも強く申し入れをしていきたい。③まずは早い段階で商工業関係者などと懇談会のような形で意見交換をさせていただきながら、関係機関と検討し、協議会の設置に向けて進めていきたい。④スイーツマップ等について、デジタル媒体やSNSの活用を含めて魅力的な発信等に取り組みたいと考えている。キャッチコピーもすばらしいが、何よりも事業所の方々と意見交換をしながら、丁寧に進めていきたい。



真政会

(質問者：黒川 輝男 議員)



施政方針の重点施策について

問 ①地域の特性を生かした仕事をつくる施策について。具体的な施策と古河市内の工場、特に北利根、丘里の両工場移転に伴う空洞化への対策をどうするか伺う。②移住と定住を促し、新しい人の流れをつくる施策について。定住支援策、交通手段も含めた住みやすくするための具体的施策を、どう展開するか伺う。③若い世代の結婚、出産、

子育ての希望を叶える施策について。小中学校の給食費無償化のほか、切れ目のない支援をどう進めるかについて伺う。

答（市長） ①市外への流出を防ぐ対応策として、東山田・谷貝地区の産業用地の拡張に取り組むとともに、市内企業への支援策も必要と考えている。引き続き新規企業の誘致も含めて取り組んでいく。今後も、将来を見据えた拠点整備やにぎわい創出の実現に鋭意努力していきたい。②現在運用している若者子育て世帯定住促進奨励金は、市外からの転入者を交付対象としている。市内に長く居住する市民へのメリットがないという意見をいただいたことから、事業の一部を見直した。市内居住者も対

象に加え、住宅取得を支援することにより、移住と定住の促進を図る。③市ではこれまで組織機構の再編や職員の連携、協働により、切れ目のない支援を進めてきている。しかし、さらなる支援の充実が求められており、「こどもまんなか社会」を実現するための手法の一つがDXによる子どもに関する情報の共有化、情報連携であると考えている。先進自治体の事例や組織再編等を研究し、切れ目のない支援の充実に取り組みたい。

